

楽しさを

・置戸大会

分科会

■公共図書館の部屋



オホーツク自慢の留辺薬と置戸の図書館を見学。利用方法や分類の特色などを司書が丁寧に説明していました。置戸の生涯学習情報センターでは、薪ストーブの近くでゆったりと本を楽しめる空間があることや、手作りの木製家具、移動図書館車などに興味を示す参加者が多く見られました。

■ワークショップー布絵本づくりー

図書館ボランティア「ありんこの手」代表の河野智子さんを講師に布絵本づくりにチャレンジ。布絵本は、布地にフェルト、ひも、ボタンなどを使って、はずす・はめるなどの



北海道子どもの本連絡会

奥村 裕子さん

(札幌市在住)



お楽しみの時間

空き時間も参加者を飽きさせまいと、近隣自治体の読み聞かせサークルによる絵本の読み聞かせや腹話術、カーテンシアターなどを実施。また、ロビーでは、長倉洋海さんのサイン会や書籍販売、置戸のおみやげ販売なども行われ、会場にはたくさんの人だかりができていました。

動作ができる「見て、触って、楽しめる」本のこと。参加者は、小さな子どもが実際にページをめくる姿を想像しながら、チクチクと楽しそうに針を進ませていました。



多くの方々の入会を

北海道子どもの本連絡会は「すべての子らに本の楽しさを」と願い、1975年から活動を続けています。年4回の会報と年1回の会誌の発行、また、夏には「子どもの本のつどい」、冬には合宿研修会を開催し、全道・全国の会員との交流を図っています。ぜひ多くの方々の入会をお待ちしています。(事務局 011-886-1799)